

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度 基盤整備事業費等		担当部局庁	地球環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	①平成17年度～、②平成11年度～		担当課室	地球温暖化対策課		課長 室石泰弘		
会計区分	一般会計、エネルギー対策特別会計(エネルギー需給勘定)		施策名	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制				
根拠法令(具体的な条項も記載)	地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の2 特別会計に関する法律第85条第3項第3号		関係する計画、通知等	-				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①温対法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度対象事業者による報告義務履行を徹底させるとともに、排出量情報を迅速に集計し、国民に分かりやすい形での結果公表を行う。また平成22年度から法改正後の新制度に基づく報告・公表を円滑に行うため、新制度の周知徹底や排出量の修正・公表・分析等所要の対応を行う。 ②自主行動計画の透明性・信頼性・目標達成の蓋然性の向上を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	①平成23年3月に平成21年度排出量の集計結果(特定事業所排出者が10,016事業者、特定輸送排出者が1,382事業者分の結果)を公表し、開示請求への対応を実施。また、全国10箇所で開催報告公表制度に係る説明会を実施するとともに、これに加えて、質疑応答集の整理、算定マニュアルの拡充等を実施。 ②現行制度のフォローアップ及び課題抽出・分析、透明性・信頼性等向上方策の検討、望ましいフォローアップに関する検討を実施。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	150	103	97	122	118	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	150	103	97	122	118	
	執行額		132	74	64	-	-	
執行率(%)		88%	72%	66%	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	①対象事業者による報告義務履行を徹底させるとともに、排出量情報を迅速に集計し、国民に分かりやすい形で結果の公表を行う。また、排出量の集計・公表・分析等を通じて、事業者の自主的取組を促進する。加えて、新制度においては、新たに京都メカニズムクレジットや国内認証排出削減量を反映できる調整後温室効果ガス排出量の報告が義務付けられているが、それらの計算方法等の周知徹底を図ることで、事業者によるこれらのクレジット等の取得を促す。 ②産業部門を中心とする各業種の削減目標達成を確実にし、我が国の京都議定書削減約束の達成に資する。 ※以上の事業について定量的な成果目標を設定することは困難。		成果実績	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	①特定事業所排出者、特定輸送排出者の排出量集計結果の公表		活動実績(当初見込み)	特定: 7,813 輸送: 1,447 (H19実績)	特定: 7,817 輸送: 1,425 (H20実績)	特定: 10,016 輸送: 1,382 (H21実績)	- -	
	②業種別の自主行動計画のフォローアップを行った業種			事業者輸送: 事業者	() ()	() ()	() ()	
		業種	39	44 (44)	44 (44)	- (44)		
単位当たりコスト	① 5,177 (円/件) ② 81,613 (円/件)		算出根拠	①「排出量算定・報告・公表制度基盤整備事業」の執行金額59,010,000(円)÷報告を行った特定事業者・輸送事業者数11,398件 ②「環境自主行動計画に関する検討調査業務」の執行金額3,591,000(円)÷44業種				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	二酸化炭素排出抑制対策事業等委託費(①)	103	100	これまでの算定・報告・公表制度の運用を踏まえ、排出量の集計・公表に係る人件費等効率化できる部分については縮減して要求することとしたため。				
	環境保全調査等委託費(①)	13	12					
	環境保全調査費(②)	6	6					
	計	122	118					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	温対法において温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度では事業者から報告のあった排出量等の情報を環境省及び経済産業省が取りまとめて公表することとなっており、本事業も国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先は公開された選定プロセスを経ている。また、毎年必要な業務内容とそれに応じたコストの見直しを実施している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	算定・報告・公表制度は経済産業省との共管であるが、業務の効率性等を考慮し、環境省にて一元的に集計・公表作業を進めるなど適切な役割分担の下で実施している。成果物の入力・集計ツールは各省庁で活用されているほか、毎年度集計した結果については、WEBサイト等で広く公開している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>①引き続き、競争性のある契約を実施するとともに、制度改正によるヘルプデスク相談の増加への対応や排出量の集計公表作業等の一層の正確性・迅速性の向上を図る。</p> <p>②引き続き、競争性のある契約を実施するとともに、これまでの知見を活かし、業務の効率化を図る。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努めること		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	既存の知見等を活かした人件費等の見直しや、テナント排出量測定事業については、データ収集箇所の重点化を行い、必要最低限の予算となるよう、概算要求額を縮減。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	003	平成23年行政事業レビュー	003

※平成23年度実績を記入

環境省
59百万円

総合評価・委託

A (株)三菱総合研究所
59百万円

【業務内容】

- ・ヘルプデスクの設置
- ・地域別説明会の開催支援
- ・質疑応答集の整理
- ・算定・報告マニュアル等の拡充
- ・特定排出者コード関連業務
- ・排出量情報の集計・公表システム及び算定ツールの保守
- ・集計・公表支援業務
- ・電気事業者別排出係数の確認
- ・排出量の補足状況等調査
- ・報告された温室効果ガス排出量に係る情報の分析や関連情報の収集・整理等

外注

B ジンジャーウェアブ
インコーポレーテッド
2百万円

【業務内容】

- ・算定公表制度WEB改修
- ・特定排出者コード検索システム更新

外注

C ビューローベリタス
ジャパン(株)
2百万円

【業務内容】

- ・排出量の補足状況等調査

外注

D エム・アール・
アイリサーチ
アソシエイツ(株)
6百万円

【業務内容】

- ・入力集計プログラムの改修等

環境省
4百万円

総合評価・請負

E エム・アール・アイリサーチ
アソシエイツ(株)
4百万円

【業務内容】

- ・自主行動計画の現状分析及びフォローアップに係る課題の抽出・分析
- ・透明性・信頼性等向上方策の検討
- ・望ましいフォローアップに関する検討

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A. (株)三菱総合研究所			E.エム・アール・アイリサーチアソシエイツ(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	集計・公表算定支援、説明会実施、マニュアル改訂、情報収集・分析	30	本業務は請負業務であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。		4
外注費	WEB改修、特定排出者コード検索システム更新、排出量の補足状況等調査、入力集計プログラムの改修等	10			
一般管理費		7			
賃金	業務補助職員	1			
印刷製本費	パンフレット、アンケート用紙等	1			
借料及び損料	説明会会場等借料	1			
その他		9			
計		59		計	
B. ジンジャーウェブ・インコーポレーテッド			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	WEB改修、特定排出者コード検索システム更新	2			
計		2	計		0
C.ビューローベリタスジャパン(株)			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	排出量の補足状況等調査	2			
計		2	計		0
D.エム・アール・アイリサーチアソシエイツ(株)			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	入力集計プログラムの改修等	6			
計		6	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプデスクの設置 ・地域別説明会の開催支援 ・質疑応答集の整理 ・算定・報告マニュアル等の拡充 ・特定排出者コード関連業務 ・排出量情報の集計・公表システム及び算定ツールの保守 ・集計・公表支援業務 ・電気事業者別排出係数の確認 ・排出量の補足状況等調査 ・報告された温室効果ガス排出量に係る情報の分析や関連情報の収集・整理等 	59	1	88%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ジンジャーウェブインコーポレーテッド	<ul style="list-style-type: none"> ・算定公表制度WEB改修 ・特定排出者コード検索システム更新 	2		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ビューローベリタスジャパン(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・排出量の補足状況等調査 	2		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エム・アール・アイリサーチアソシエイツ(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・入力集計プログラムの改修等 	6		

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エム・アール・アイリサーチアソシエイツ(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・自主行動計画の現状分析及びフォローアップに係る課題の抽出・分析 ・透明性・信頼性等向上方策の検討 ・望ましいフォローアップに関する検討 	4	1	72%